

教科	学級活動(1)	学年	第1・2学年
----	---------	----	--------

議題名	到達目標(ねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
趣旨		<ul style="list-style-type: none"> ・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や、活動を行う上で必要となることについて理解している。 ・自己の生活の充実・向上や自分らしい生き方の実現に必要なことについて理解している。 ・よりよい生活を築くための話し合い活動の進め方、合意形成の図り方などの技能を身に付けている 	<ul style="list-style-type: none"> ・所属する様々な集団や自己の生活の充実・向上のため、問題を発見し、解決方法について考え、話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしたりして実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会、人間関係をよりよく築くために、自主的に自己の役割や責任を果たし、多様な他者と協働して実践しようとしている。 ・主体的に自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとしている。
学級活動(1)「学級や学校における生活づくりへの参画」 学級会の話合い活動 (1)話し合って決め、実践しよう (例)議題「〇〇の会の計画を立てよう」	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決の必要性を共有するとともに、話し合いの計画を立て、解決に向けて自分の考えがもてるようにする。 ・合意形成をしたことをもとに役割分担し、全員で協力して、自分のよさを発揮したり互いのよさや頑張りに気付いたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級や学校の生活上の諸課題を、教師の助言のもとに、自分の意見を発表したり、他者の意見をよく聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、基本的な生活習慣や約束やきまりを守ることの大切さを理解して行動し、実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級や学校における人間関係や生活をよりよくするための目標を決めて実行している。

学級活動(1)の時数の取り方について

○学級活動(1) ……1・2年は22単位時間、3～6年は27単位時間

○学級活動(2)(3)……1・2年は15単位時間、3～6年は10単位時間

○学級活動(1)は、①問題の発見・確認(生活上の諸問題から課題を見だし、学級全員で「議題」を決定する。)⇒②解決方法等の話し合い⇒③解決方法の決定(合意形成)⇒④決めたことの実践⇒⑤振り返り

という一連の活動を通して、次の課題解決へ向かう学習過程をとる性質から、1単位時間での記載をしていない。

議題について

○議題例は、別紙「学級活動年間指導計画」に記載している。

教科	学級活動(1)	学年	第3～6学年
----	---------	----	--------

議題名	到達目標(ねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
趣旨		<ul style="list-style-type: none"> ・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や、活動を行う上で必要となることについて理解している。 ・自己の生活の充実・向上や自分らしい生き方の実現に必要なことについて理解している。 ・よりよい生活を築くための話し合い活動の進め方、合意形成の図り方などの技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・所属する様々な集団や自己の生活の充実・向上のため、問題を発見し、解決方法について考え、話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしたりして実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会、人間関係をよりよく築くために、自主的に自己の役割や責任を果たし、多様な他者と協働して実践しようとしている。 ・主体的に自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとしている。
学級活動(1)「学級や学校における生活づくりへの参画」 学級会の話し合い活動 (1)話し合って決め、実践しよう 学級会の話し合い活動 (例)議題「〇〇の会の計画を立てよう」	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決の必要性を共有するとともに、話し合いの計画を立て、解決に向けて自分の考えがもてるようにする。 ・合意形成をしたことをもとに役割分担し、全員で協力して、自分のよさを発揮したり互いのよさや頑張りに気付いたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級や学校の生活上の諸課題を話し合いの進め方に沿って、自分の意見を発表したり、他者の意見をよく聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、基本的な生活習慣や約束やきまりを守ることの大切さを理解して行動し、実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級や学校における人間関係や生活をよりよくするための目標を決めて実行している。

学級活動(1)の時間の取り方について

○学級活動(1) ……1・2年は22単位時間、3～6年は27単位時間

○学級活動(2)(3)……1・2年は15単位時間、3～6年は10単位時間

○学級活動(1)は、①問題の発見・確認(生活上の諸問題から課題を見だし、学級全員で「議題」を決定する。)⇒②解決方法等の話し合い⇒③解決方法の決定(合意形成)⇒④決めたことの実践⇒⑤振り返り

という一連の活動を通して、次の課題解決へ向かう学習過程をとる性質から、1単位時間での記載をしていない。

議題について

○議題例は、別紙「学級活動年間指導計画」に記載している。

○「1議題1実践」が望ましいが、学級会が回数を重ねることも考えられる。年間の見通しをもちつつ、議題を選定する必要がある。

教科	学級活動(1)	学年	第3～6学年
----	---------	----	--------

議題名	到達目標(ねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
趣旨		<ul style="list-style-type: none"> ・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や、活動を行う上で必要となることについて理解している。 ・自己の生活の充実・向上や自分らしい生き方の実現に必要なことについて理解している。 ・よりよい生活を築くための話し合い活動の進め方、合意形成の図り方などの技能を身に付けている 	<ul style="list-style-type: none"> ・所属する様々な集団や自己の生活の充実・向上のため、問題を発見し、解決方法について考え、話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしたりして実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会、人間関係をよりよく築くために、自主的に自己の役割や責任を果たし、多様な他者と協働して実践しようとしている。 ・主体的に自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとしている。
学級活動(1)「学級や学校における生活づくりへの参画」 学級会の話合い活動 (1)話し合って決め、実践しよう 学級会の話合い活動 (例)議題「〇〇の会の計画を立てよう」	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決の必要性を共有するとともに、話し合いの計画を立て、解決に向けて自分の考えがもてるようにする。 ・合意形成をしたことをもとに役割分担し、全員で協力して、自分のよさを発揮したり互いのよさや頑張りに気付いたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級や学校の生活上の諸課題を話し合いの進め方に沿って、自分の意見を発表したり、他者の意見をよく聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、基本的な生活習慣や約束やきまりを守ることの大切さを理解して行動し、実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級や学校における人間関係や生活をよりよくするための目標を決めて実行している。

学級活動(1)の時数の取り方について

○学級活動(1) ……1・2年は22単位時間、3～6年は27単位時間

○学級活動(2)(3)……1・2年は15単位時間、3～6年は10単位時間

○学級活動(1)は、①問題の発見・確認(生活上の諸問題から課題を見だし、学級全員で「議題」を決定する。)⇒②解決方法等の話し合い⇒③解決方法の決定(合意形成)⇒④決めたことの実践⇒⑤振り返り

という一連の活動を通して、次の課題解決へ向かう学習過程をとる性質から、1単位時間での記載をしていない。

議題について

○議題例は、別紙「学級活動年間指導計画」に記載している。

○「1議題1実践」が望ましいが、学級会が回数を重ねることも考えれる。年間の見通しをもちつつ、議題を選定する必要がある。

教科	学級活動(2)	学年	第1・2学年
----	---------	----	--------

題材名	到達目標(ねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
趣旨		<ul style="list-style-type: none"> ・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や、活動を行う上で必要となることについて理解している。 ・自己の生活の充実・向上や自分らしい生き方の実現に必要なことについて理解している。 ・よりよい生活を築くための話し合い活動の進め方、合意形成の図り方などの技能を身に付けている 	<ul style="list-style-type: none"> ・所属する様々な集団や自己の生活の充実・向上のため、問題を発見し、解決方法について考え、話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしたりして実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会、人間関係をよりよく築くために、自主的に自己の役割や責任を果たし、多様な他者と協働して実践しようとしている。 ・主体的に自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとしている。
学級活動(2)「日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」 (2)めあてを決め、成長しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解するとともに、多様な意見を基に自ら解決方法を意思決定し、他者を尊重してよりよい人間関係を形成する。 	日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全といった、自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解するとともに、そのために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活上の課題に気付き、多様な意見を基に、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	自己の生活をよりよくするために、他者と協働して自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。

学級活動(2)(3)の時間の取り方について

○学級活動(1) ……1・2年は22単位時間、3～6年は27単位時間

○学級活動(2)(3)……1・2年は15単位時間、3～6年は10単位時間

○学級活動(2)(3)は、

①実態や現状の把握(つかむ)⇒②必要性の実感(原因の追求)⇒解決方法等の話し合い(見つける)⇒個人目標の意思決定(決める)

という学習過程の1単位時間を基本とするが、朝の会、帰りの会、1/3、1/2単位時間等を設定し行うことも考慮して計画を立てる。

題材について

○学級活動(2)(3)の題材は、別紙「学級活動年間指導計画」に記載している。

教科	学級活動(2)	学年	第3・4学年
----	---------	----	--------

題材名	到達目標(ねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
趣旨		<ul style="list-style-type: none"> ・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や、活動を行う上で必要となることについて理解している。 ・自己の生活の充実・向上や自分らしい生き方の実現に必要なことについて理解している。 ・よりよい生活を築くための話し合い活動の進め方、合意形成の図り方などの技能を身に付けている 	<ul style="list-style-type: none"> ・所属する様々な集団や自己の生活の充実・向上のため、問題を発見し、解決方法について考え、話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしたりして実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会、人間関係をよりよく築くために、自主的に自己の役割や責任を果たし、多様な他者と協働して実践しようとしている。 ・主体的に自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとしている。
学級活動(2)「日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」 (2)めあてを決め、成長しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解するとともに、多様な意見を基に自ら解決方法を意思決定し、他者を尊重してよりよい人間関係を形成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全といった、自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解するとともに、そのために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の生活上の課題に気付き、多様な意見を基に、自らの解決方法を意思決定し、実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の生活をよりよくするために、他者と協働して自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。

学級活動(2)(3)の時数の取り方について

○学級活動(1) ……1・2年は22単位時間、3～6年は27単位時間

○学級活動(2)(3)……1・2年は15単位時間、3～6年は10単位時間

○学級活動(2)(3)は、

①実態や現状の把握(つかむ)⇒②必要性の実感(原因の追求)⇒解決方法等の話し合い(見つける)⇒個人目標の意思決定(決める)

という学習過程の1単位時間を基本とするが、朝の会、帰りの会、1/3、1/2単位時間等を設定し行うことも考慮して計画を立てる。

題材について

○学級活動(2)(3)の題材は、別紙「学級活動年間指導計画」に記載している。

教科	学級活動(2)	学年	第5・6学年
----	---------	----	--------

題材名	到達目標(ねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
趣旨		<ul style="list-style-type: none"> ・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や、活動を行う上で必要となることについて理解している。 ・自己の生活の充実・向上や自分らしい生き方の実現に必要なことについて理解している。 ・よりよい生活を築くための話し合い活動の進め方、合意形成の図り方などの技能を身に付けている 	<ul style="list-style-type: none"> ・所属する様々な集団や自己の生活の充実・向上のため、問題を発見し、解決方法について考え、話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしたりして実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会、人間関係をよりよく築くために、自主的に自己の役割や責任を果たし、多様な他者と協働して実践しようとしている。 ・主体的に自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとしている。
学級活動(2)「日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」 (2)めあてを決め、成長しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解するとともに、多様な意見を基に自ら解決方法を意思決定し、他者を尊重してよりよい人間関係を形成する。 	日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全といった、自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解するとともに、そのために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活上の課題に気付き、多様な意見を基に、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	自己の生活をよりよくするために、他者と協働して自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。

学級活動(2)(3)の時数の取り方について

○学級活動(1) ……1・2年は22単位時間、3～6年は27単位時間

○学級活動(2)(3)……1・2年は15単位時間、3～6年は10単位時間

○学級活動(2)(3)は、

①実態や現状の把握(つかむ)⇒②必要性の実感(原因の追求)⇒解決方法等の話し合い(見つける)⇒個人目標の意思決定(決める)

という学習過程の1単位時間を基本とするが、朝の会、帰りの会、1/3、1/2単位時間等を設定し行うことも考慮して計画を立てる

題材について

○学級活動(2)(3)の題材は、別紙「学級活動年間指導計画」に記載している。

教科	学級活動(3)	学年	第1・2学年
----	---------	----	--------

題材名	到達目標(ねらい)	題材のまとまりの評価規準		
		よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
趣旨		<ul style="list-style-type: none"> ・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や、活動を行う上で必要となることについて理解している。 ・自己の生活の充実・向上や自分らしい生き方の実現に必要なことについて理解している。 ・よりよい生活を築くための話し合い活動の進め方、合意形成の図り方、意思決定の方法などの技能を身に付けている 	<ul style="list-style-type: none"> ・所属する様々な集団や自己の生活の充実・向上のため、問題を発見し、解決方法について考え、話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしたりして実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会、人間関係をよりよく築くために、自主的に自己の役割や責任を果たし、多様な他者と協働して実践しようとしている。 ・主体的に自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとしている。
学級活動(3)「一人一人のキャリア形成と自己実現」 (3)なりたい自分になろう 題材例「2年生になって」	この1年でどのようになりたいかについて話し合い、希望や目標をもって生活できるようにする。当番の仕事の仕方を覚えたり、友達と一緒に仕事に取り組んだりできるようにする。学ぶことのよさや大切さについて考え、進んで学習に取り組めるようにする。	働くことや学ぶことの意義を理解するとともに、自己のよさを生かしながら将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分のよさを生かしたり、他者と協力したりして、主体的に活動している。	現在及び将来にわたってよりよく生きるために、自分に合った目標を立て、自己のよさを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。

学級活動(2)(3)の時数の取り方について

○学級活動(1) ……1・2年は22単位時間、3～6年は27単位時間

○学級活動(2)(3)……1・2年は15単位時間、3～6年は10単位時間

○学級活動(2)(3)は、

①実態や現状の把握(つかむ) ⇒ ②必要性の実感(原因の追求) ⇒ 解決方法等の話し合い(見つける) ⇒ 個人目標の意思決定(決める) という学習過程の1単位時間を基本とするが、朝の会、帰りの会、1/3、1/2単位時間等を設定し行うことも考慮して計画を立てる。

題材について

○学級活動(2)(3)の題材は、別紙「学級活動年間指導計画」に記載している。

教科	学級活動(3)	学年	第3・4学年
----	---------	----	--------

題材名	到達目標(ねらい)	題材のまとまりの評価規準		
		よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
趣旨		<ul style="list-style-type: none"> ・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や、活動を行う上で必要となることについて理解している。 ・自己の生活の充実・向上や自分らしい生き方の実現に必要なことについて理解している。 ・よりよい生活を築くための話し合い活動の進め方、合意形成の図り方、意思決定の方法などの技能を身に付けている 	<ul style="list-style-type: none"> ・所属する様々な集団や自己の生活の充実・向上のため、問題を発見し、解決方法について考え、話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしたりして実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会、人間関係をよりよく築くために、自主的に自己の役割や責任を果たし、多様な他者と協働して実践しようとしている。 ・主体的に自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとしている。
学級活動(3)「一人一人のキャリア形成と自己実現」 (3)なりたい自分になろう 題材例「4年生になって」	この1年でどのようになりたいかについて話し合い、希望や目標をもって生活できるようにする。当番の仕事の仕方を覚えたり、友達と一緒に仕事に取り組んだりできるようにする。学ぶことのよさや大切さについて考え、進んで学習に取り組めるようにする。	働くことや学ぶことの意義を理解するとともに、自己のよさを生かしながら将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分のよさを生かしたり、他者と協力したりして、主体的に活動している。	現在及び将来にわたってよりよく生きるために、自分に合った目標を立て、自己のよさを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。

学級活動(2)(3)の時数の取り方について

○学級活動(1) ……1・2年は22単位時間、3～6年は27単位時間

○学級活動(2)(3)……1・2年は15単位時間、3～6年は10単位時間

○学級活動(2)(3)は、

①実態や現状の把握(つかむ)⇒②必要性の実感(原因の追求)⇒解決方法等の話し合い(見つける)⇒個人目標の意思決定(決める)という学習過程の1単位時間を基本とするが、朝の会、帰りの会、1/3、1/2単位時間等を設定し行うことも考慮して計画を立てる。

題材について

○学級活動(2)(3)の題材は、別紙「学級活動年間指導計画」に記載している。

教科	学級活動(3)	学年	第5・6学年
----	---------	----	--------

題材名	到達目標(ねらい)	題材のまとまりの評価規準		
		よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
趣旨		<ul style="list-style-type: none"> ・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や、活動を行う上で必要となることについて理解している。 ・自己の生活の充実・向上や自分らしい生き方の実現に必要なことについて理解している。 ・よりよい生活を築くための話し合い活動の進め方、合意形成の図り方、意思決定の方法などの技能を身に付けている 	<ul style="list-style-type: none"> ・所属する様々な集団や自己の生活の充実・向上のため、問題を発見し、解決方法について考え、話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしたりして実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会、人間関係をよりよく築くために、自主的に自己の役割や責任を果たし、多様な他者と協働して実践しようとしている。 ・主体的に自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとしている。
学級活動(3)「一人一人のキャリア形成と自己実現」 (3)になりたい自分になろう 題材例「中学校に向けて」	この1年でどのようになりたいかについて話し合い、希望や目標をもって生活できるようにする。当番の仕事の仕方を覚えたり、友達と一緒に仕事に取り組んだりできるようにする。学ぶことのよさや大切さについて考え、進んで学習に取り組めるようにする。	働くことや学ぶことの意義を理解するとともに、自己のよさを生かしながら将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分のよさを生かしたり、他者と協力したりして、主体的に活動している。	現在及び将来にわたってよりよく生きるために、自分に合った目標を立て、自己のよさを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。

学級活動(2)(3)の時数の取り方について

○学級活動(1) ……1・2年は22単位時間、3～6年は27単位時間

○学級活動(2)(3)……1・2年は15単位時間、3～6年は10単位時間

○学級活動(2)(3)は、

①実態や現状の把握(つかむ)⇒②必要性の実感(原因の追求)⇒解決方法等の話し合い(見つける)⇒個人目標の意思決定(決める)

という学習過程の1単位時間を基本とするが、朝の会、帰りの会、1/3、1/2単位時間等を設定し行うことも考慮して計画を立てる。

題材について

○学級活動(2)(3)の題材は、別紙「学級活動年間指導計画」に記載している。

教科	児童会活動	学年	主として高学年
----	-------	----	---------

議題名	到達目標(ねらい)	題材のまとまりの評価規準		
		よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
趣旨		<ul style="list-style-type: none"> ・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や、活動を行う上で必要となることについて理解している。 ・自己の生活の充実・向上や自分らしい生き方の実現に必要なことについて理解している。 ・よりよい生活を築くための話し合い活動の進め方、合意形成の図り方、意思決定の方法などの技能を身に付けている 	<ul style="list-style-type: none"> ・所属する様々な集団や自己の生活の充実・向上のため、問題を発見し、解決方法について考え、話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしたりして実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会、人間関係をよりよく築くために、自主的に自己の役割や責任を果たし、多様な他者と協働して実践しようとしている。 ・主体的に自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとしている。
代表委員会 各委員会の活動 「児童会の組織づくりと児童会活動の計画や運営」	異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組む力を育てる。	働くことや学ぶことの意義を理解するとともに、自己のよさを生かしながら将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分のよさを生かしたり、他者と協力したりして、主体的に活動している。	現在及び将来にわたってよりよく生きるために、自分に合った目標を立て、自己のよさを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。

児童会活動について

○児童会活動の計画や運営は、主として高学年による自主的、自治的な活動であることから、年間指導計画に基づき、教師の適切な指導助言の下に、全校に関わるものなど、必要に応じて、児童が具体的に活動計画を立てられるようにする。

①問題の発見・確認(生活上の諸問題から課題を見だし、「議題」を決定する。)⇒②解決方法等の話し合い⇒③解決方法の決定(合意形成)⇒④決めたことの実践⇒⑤振り返り
という一連の活動過程を重視し、それを繰り返し経験できるように指導計画を作成し、実施する。

教科	クラブ活動	学年	4・5・6年
----	-------	----	--------

活動	到達目標(ねらい)	題材のまとまりの評価規準		
		よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
趣旨		<ul style="list-style-type: none"> ・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や、活動を行う上で必要となることについて理解している。 ・自己の生活の充実・向上や自分らしい生き方の実現に必要なことについて理解している。 ・よりよい生活を築くための話し合い活動の進め方、合意形成の図り方、意思決定の方法などの技能を身に付けている 	<ul style="list-style-type: none"> ・所属する様々な集団や自己の生活の充実・向上のため、問題を発見し、解決方法について考え、話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしたりして実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会、人間関係をよりよく築くために、自主的に自己の役割や責任を果たし、多様な他者と協働して実践しようとしている。 ・主体的に自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとしている。
各クラブの活動 (1)クラブの組織づくりとクラブ活動の計画や運営 (2)クラブを楽しむ活動 (3)クラブの成果の発表	異年齢の児童による自発的、自治的な活動を通して、共通の興味・関心を追求する活動であることを踏まえ、児童の希望を尊重した組織づくりをしたり、計画を立案してその運営について話し合っ意見をもとめたりする。	共通の興味・関心を追求するクラブ活動の意義やそのための活動内容、方法や役割について理解している。	共通の興味・関心を追求するために話し合い、クラブの一員として、よりよいクラブづくりや計画について考え、判断し、自己を生かし協力して実践している。	共通の興味・関心を追求するために、主体的によりよいクラブ活動になるように取り組んでいる。

クラブ活動について

○クラブ活動の計画や運営は、学級会の計画委員会に対する指導と同じように、クラブ担当の教師が事前にクラブ長と話し合いの流れの予想、運営の仕方など見通しを立てることが必要。

教科	学校行事	学年	全学年
----	------	----	-----

活動	到達目標(ねらい)	題材のまとまりの評価規準		
		よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
(1) 儀式的行事	生活に変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活への動機付けとする。	儀式的行事の意義や、その場にふさわしい参加の仕方を協働するなどについて理解している。	よりよい学校や学年の一員としての自覚をもち、新しい生活への展開や集団の場における規律などについて考え、判断し、実践している。	行事を節目としたこれからの活動に関心をもち、主体的に学校や学年の一員として厳粛な雰囲気の中で儀式的行事に取り組もうとしている。
(2) 文化的行事	各教科等での学習活動の成果を発表し、よりよい自分を目指したり、文化や芸術に親しんだりする。	文化的行事の意義や、日頃の学習成果を発表する方法、鑑賞の仕方などについて理解している。	よりよい学校や学年の一員としての自覚をもち、美しいものや優れたもの、自他のよさや自己の成長などについて考え、判断し、協働して実践している。	文化や芸術、日頃の学習活動などに関心をもち、互いの努力を認め合い、主体的に自己を伸ばそうとする意欲をもって、積極的に文化的行事に取り組もうとしている。
(3) 健康安全・体育的行事	健康で安全な生活のための行動を身に付けて、運動に親しみ、責任感や連帯感を伸ばし、体力向上を目指す。	健康安全・体育的行事の意義や、心身の健全な発達、事件や事故、自然災害から身を守る安全な生活、体力向上の方法などについて理解している。	よりよい学校や学年の一員として自覚をもち、自己の健康や安全、規律ある集団行動などについて考え、判断し、実践している。	心身の健全な発達や健康の保持増進、運動などについて関心をもち、主体的に健康安全・体育的行事に取り組もうとしている。
(4) 遠足・集団宿泊的行事	いつもと異なる環境で見聞を深め、自然や文化に親しむとともに、よりよい人間関係を築くための体験を積む。	遠足・集団宿泊的行事の意義や、校外におけるよりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方、校外における集団生活の在り方、公衆道徳について理解している。	学校や学年の一員としての自覚をもち、平素と異なる生活環境の中でのよりよい人間関係や行動の在り方などについて考え、判断し、協働して実践している。	自然や文化などについて関心をもち、互いを思いやり、主体的に遠足・集団宿泊的行事に取り組もうとしている。

<p>(5) 勤労生産・奉仕的行事</p>	<p>勤労の尊さや、ボランティアの精神を養う体験をする。</p>	<p>勤労生産・奉仕的活動の意義や、勤労体験活動、ボランティア活動などの社会奉仕の精神、そのための活動の方法などについて理解している。</p>	<p>よりよい学校や学年の一員として自覚をもち、よりよい勤労や生産の在り方について考え、判断し、協働して実践している。</p>	<p>学校や地域社会などの公共のために役立つことや働くことに興味をもち、主体的に勤労生産・奉仕的行事に取り組もうとしている。</p>
-----------------------	----------------------------------	---	---	--